

裾野麗峰山の会山行報告書

文・写真＝掛橋智美

山行番	NO. 1597-2
日時	2014. 6. 15 (日) 無風・晴
山域	八ヶ岳・西岳(2398m)～編笠山(2524m)
標高差	上り＝ 富士見高原リゾート駐車場1340m～編笠山2524m＝1184m 下り＝ 編笠山2524m～観音平1550m＝978m
参加者	小松、井上、千葉(ゲスト)、掛橋＝4名
コース	長泉発5:00－富士見高原駐車場7:45－五叉路分岐8:05－不動清水8:10－西岳9:55～10:15－乙女の水11:05－青年小屋11:10～11:30－編笠山12:00～13:40－押手川14:15－雲海14:45－観音平15:15－小淵沢「道の駅」入浴
合計時間	約7時間30分(行動時間＝約5時間10分)

今日は月に一度のさわやかハイキングの日だった。当初予定の毛無山から、八ヶ岳の権現岳に変更可能か？とのG殿から連絡があったが、参加メンバーからの山域変更への反対はなく、今日を迎えた。

今日の参加メンバーは12名で、新東名の入口で合流し、2台の車は順調に登山口に向かっていった。車中から見える、まだ雪の残る南アルプスの山々と今から行く八ヶ岳が素晴らしい。今日は快晴だった。車中で地図を見ながら今日の登山ルートの話をしていった。数名は既に権現岳に登ったことがあった。実際、私もこの3月に天女山入口からのルートを往復していた。

G殿からの提案で、西岳から、編笠山へ、時間に余裕があれば、権現岳に行くかどうか？とのこと。青年小屋に11:00に着けば権現岳まで可能とのこと。G殿の運転する車からは私を含め3名、H姫の運転する車からは、今回ゲスト参加のT葉殿がこのルートに行くことにした。急遽、登山ルートを変更した急遽隊が構成された。車中で話が盛り上がっていたせいか、いつの間にか、下りる予定の小淵沢ICを過ぎていた。次のICで下り、小淵沢ICへ引き返した。行きで富士山を見ながら高速を走るの、G殿も初めてだったらしい。ありがたいことに、私達は富士見高原駐車場で先に降ろしてもらった。

ルート変更した、私達、急遽隊は、今回のメンバーの中では、若い構成だった。なんてったって40代が、4分の3人。今回さわやかハイキングのメンバーで最も若い同級生組のI殿と私に、もっと若いゲストのT葉殿が加わり、いつもしんがりを務めてくれる50代のK殿の4人となった。急遽隊のリーダーはI殿、I殿を先頭にT葉殿、私、今日もしんがりを務めてくれるK殿で登山が始まった。

不動清水で喉を潤し、一人の男性を追い越して先を進んだ。樹林帯の中は、日差しが差し込んでいたが思ったより涼しく、快適に登って行った。途中、かなり年上のお兄様とお姉様の10名程の団体様が休憩していた。「何処まで行くのか」と聞かれた。「行けたら権現岳まで」と答えた。登って行くとまた、同じ様な団体様が休憩してい



不動清水

ギボシと編笠山



西岳頂上



岩鏡



た。また同じ様なことを聞かれた。同じ様に「行けたら権現岳まで」と答えた。この団体様は青年小屋に泊まって、行けたら権現岳へとのことだった。

K殿が少し遅れていた。この会で初の40代3人トリオは、休憩しながらK殿を待っていた。人が登って来た。男の子だった。その後に女の子、お母さん、お父さん？と思ったら、その人がK殿だった。K殿に「親子かと思った」すかさずI殿のつっこみ、K殿は「お爺さんだよ」などと話ながら、また登り始めた。この地点で西岳まで後、200m位だった。樹林帯を抜け、空が青くなると、そこが、西岳の頂上だった。目の前に編笠山、奥に富士山、左には青年小屋からギボシ（その奥に権現岳があるのであろう）に続く稜線がはっきり見えた。

右には南アルプス、中央アルプス、御嶽山、乗鞍山が続いていた。素晴らしい景色をしばらく堪能していた。ちょうど、先程の親子連れもいて、子供は小学校1年生との、K殿にも小学校1年生のお孫さんがいるとのこととやっぱりお爺ちゃんだった、、でもK殿はお爺ちゃんには見えない、、この親子と写真を取りあい、青年小屋に向かった。

青年小屋から離れる感じがして、5月、下りるルートを間違えた私は少し不安になり、朝から、登りを前後している男性に聞いてみた。その人はGPSを持っていて、正確な場所を教えてくれた。地図上での実際の場所を確認し、先を進んだ。GPSはやはり優れものだった。（私はGPSよりもまず地図読みを身につけなければならぬと思った）乙女の水に着いて喉を潤した。冷たくて美味しい。

11:10青年小屋に着いた。G殿と連絡を取ろうとするが、携帯が繋がらない。そうこうしているうちに時間は過ぎるばかりだった。

私達は権現岳に行こうか、編笠山に行こうか、迷っていた。余裕で登りをこなしてきたT葉殿は何も言わなかった。I殿は編笠山の登りで満足と言った。K殿も疲れたようで編笠山でと言った。編笠山に行ったことがなく、このルートでの権現岳にも行ったことのない私にはどちらも魅力的だった。連絡が取れないこともあり「編笠山のんびりしよう」ということになった。I殿とK殿は、久しぶりの山行でかなり疲れているようだった。

途中で逢った団体様への「行けたら権現まで」の返事が現実にはならなかったが、仲間の体力の状態から考えて懸命な選択だった。（後から聞いたが、T葉殿は権現岳に行きたかったようだ。私が意見を聞いていれば、と思ったが、単独行動は極力さけるがG殿の流儀である）

編笠山に向かった。青年小屋から登る編笠山は下の方が岩場になって、樹林帯がある面白い山だった。何処からでも登れそうな岩場を、ルートどおり、たまにルートを外れながら登った。なかなか面白い。岩場を登りきって、青年小屋を見下ろし、権現岳を見た。そこから続く三ツ頭。今日は何と素晴らしい景色だ。私は3月の行程を思い出していた。夏の権現岳はどんな所なのだろうと想像の翼を広げていた（NHK朝ドラの受け売りですみません）。今日の行程に余裕が出来た為、後ろを振り返る余裕があった。

樹林帯に入ると、樹林帯の中なのに岩がゴロゴロしていて面白い道だった。途中、雪が残っていた。直ぐに頂上に出た。頂上は岩場で広がった。360℃のパノラマが



青年小屋水場



ギボシと権現岳



編笠山頂上



広がっていた。人が通りそうにない場所に腰を下ろし、昼食となった。いつもの様にまずビールを飲んだ。相変わらずうまい。天候の割には、気候は涼しい。頂上の岩は浮石もあり、転びそうになっている人がいて、気が引き締まっていた。そのことで、2本目のビールを躊躇していたら、I殿から「もう一本飲まないの？」の声。2本飲むには、、そこで、山でのビールのおいしさを知らない残念なT葉殿に1杯薦めてみた。2杯目も飲んで美味しかったようだ。これで、山で一つ楽しみが増え、ビールは欠かせないこととなったでしょう。嬉しいことに山ビーカー（勝手に山でビールを飲む人をそう命名した）の仲間が増えてしまった。頂上では、H姫と連絡が取れ、姫様達がいる権現小屋に向かって手を振るが分らなかった。

観音平への到着時間を合わせて下山しようとしたため、360°の大パノラマを十分に満喫し、今までにないのんびりした休憩を過ごした。山頂で写真を撮ってもらった人は、赤岳鉱泉で働く、いかにも「さわやかで感じの青年」で、月に1度の5日間の休暇で下山するとのことだった。時間にまだ余裕があったが、山では何が起こるか分からないため下山することにした。5月、別の山で下山ルートの間違ったことがあって、今日は、慎重にルートを確認し、観音平方面へ下った。ゆっくり下りるはずが、I殿は早い。私は元々、下りが得意ではないので、頑張って下りていた。

押手川までコースタイムより早い。雲海までもコースタイムより早い。登りでもコースタイムが速かったが、コースタイムは何を基準としているのだろうか？（今度調べてみよう）雲海で、G殿隊が下っている尾根を見た。長い尾根で大変そうであった。G殿に連絡を取り、急遽隊の現在地を伝え、ゆっくり下山した。観音平に到着し、木陰で座って、G殿隊の着くのを待っていた。思っていたより30分位は早く、G殿隊御一行様は下りて来た。

私よりなかなかのお姉様やお兄様もいるのに、、何て元気な御一行様だ。G殿は「もうこんな行程は組まない」と言いながら下りて来た。よっぽど大変な工程だったのであろう。私が急遽隊ではなく、G殿隊に参加していても登りきれていたか？8名のG殿隊に脱帽です。でも、もし機会があればこの行程にも挑戦してみたいと思いました。頑張る気持ちと、挑戦する勇気を頂きありがとうございました。



編笠山頂

その他の報告（G編集人）

1. ゲストのT葉君とは初山行。まだ40代の若きエース。彼との「ご縁」は、5月17日富士登山から始まった。17日は土曜日だったが、翌日曜日、藤枝で県連の会議があって、この時は土曜日登山だった。

富士宮五合目に着いて駐車場をブラブラ登山口に向かって行くと、顔が真っ黒な何処かで見た輩がいた。昔、N山の会で一緒だったKだった。Kはサイコーにスキーが上手い。知り合った30年以前からスキーをやっているのだから経験は半端でない。

N山の会は、芦安のSも在籍していた会だが、とっくに解散。しかし、山岳スキーをやるKと私は、しばしば山で会う。

いろいろ話をしたら、今回は三島のT葉君と来たと言う。KとT葉君は、今年3月大雪の越前岳で初めて会ったという。その時、Kはスキーで来ていて、「こんな所でスキーをやる人は一体どんな方だろう」と、T葉君は驚くと同時に大いに感動し、ゲレンデスキーをやる自分も山岳スキーをやってみたくて、その後Kと意気投合したという。

聞けばT葉君は、三島の大宮町で家はこの日同行のHのすぐ近くだった。その後、山行帰りに三島駅前でもイッパイやって、大いに交流を図った。下界で話したら、まだ独身だった。同席の今回の記録報告者のK橋が、さっそくテニス仲間の独身女性を紹介するまで話は進んだ。（笑い）

その後、5月28日、私が主宰する、「富士山一周ウォーキング」時、朝三嶋大社を出て山田川に向かっていたら、某アパートからT葉君が丁度出勤する所でバッタリ。「アレ～ヤアヤアヤア」で大騒ぎだった。そんな訳で、何かと「ご縁」を感じるT葉君でした。



頑張る
前者K、後者T葉

2014. 05. 17 (土)
富士山八合目



T葉君